

土砂災害対策により施設被害を低減し、放射性物質の漏洩等を防止する
(岡山県苫田郡鏡野町、鳥取県東伯郡湯梨浜町)

国立研究開発法人
事業者：日本原子力研究開発機構

<麻畑2号坑捨石たい積場の安全対策工事>



<濃縮工学施設 (EEF) 西側法面の安全対策工事>



※現在は、法面中腹部の
工事を実施中

対策名：98 国立研究開発法人施設等のインフラ整備対策



主たる施策グループ：1-1) 大規模地震に伴う、住宅・建物・不特定多数が集まる施設等の複合的・大規模倒壊による多数の死傷者の発生

人材・研究等

事業名：人形峠環境技術センターの安全対策

- ポイント**
- 人形峠環境技術センター周辺における豪雨等による捨石の崩落・流出対策工事を実施するとともに、法面の土砂災害対策工事等を実施
 - 原子力分野特有の事故の未然防止・発生リスクの低減化を図る

地域の概要・課題

近年、文部科学省が所管する人形峠環境技術センターの所在する鏡野町(岡山県)では過去の記録にない豪雨が増えており、法面や斜面が崩壊する土砂災害発生数が増加の傾向にあります。

また、周辺地域を含め、線状降水帯の発生による大雨で、土砂災害警戒情報「レベル4」の発令も増え、実際に自然災害が発生しやすい状況にあるため、災害発生防止対策を速やかに進める必要がありました。

事業の概要

人形峠環境技術センターにおいて核燃料物質を取り扱う施設等を土砂災害から守るため、センター周辺における豪雨等による捨石の崩落・流出対策工事、法面上部の土砂災害対策工事を令和元年度及び令和4年度で実施し、土石流流入を防止するための対策工事は令和5年度から実施しました。令和6年度より、法面中腹部以降の対策工事を実施する予定です。

見込まれる効果

本対策の実施により、地震時や近年多発している数十年に1回発生するような豪雨の際に、人形峠環境技術センターにおいて核燃料物質を取り扱う施設等を土砂災害から守り、放射性物質の外部漏えいや周辺環境への汚染といった事故の未然防止・発生リスクの低減を図ることが可能となります。

これに伴い、周辺住民のさらなる安全・安心を確保することができます。

人形峠環境技術センター
周辺の土砂災害警戒区域

特別警戒区域
(土石流)

警戒区域
(土石流)



おかやま全県統合型GIS引用

1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策
(1) 人命・財産の被害を防止するための対策

(2) 交通ネットワーク・ライフラインを維持し、国民経済・生活を支えるための対策

2 予防保全型インフラメンテナンス
への転換に向けた老朽化対策

(1) 3 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進
デジタル化に関する施策の

(2) 伝達の高高度化情報予測、収集・集積